

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものであるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム 太良の里
(ユニット名)	
所在地 (県・市町村名)	佐賀県藤津郡太良町系岐2491-1
記入者名 (管理者)	
記入日	平成19年11月10日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<input checked="" type="checkbox"/>	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<ul style="list-style-type: none"> グループホームとしての理念 この法人は5~7人のグループで家庭的な環境と地域住民との交流の中で共同生活と暮らすの住居で入浴、排糞及び食事等の介護その他、日常生活上の世話や機能訓練を実施することにより、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るようになることを目的とする。 大良の里の理念「ゆくりと、自分らしく、そして共に生きる。」 	
<input checked="" type="checkbox"/>	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> 理念は「書」として玄関に掲げております。 毎月の取組ミーティング時全取組員の理念の共有に向け話し合っております。 	
<input checked="" type="checkbox"/>	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切に理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> 家族に対しては毎月の長期来訪時に1).2)項の理念を話し理解いただいております。 地域の方々に対しては施設来訪時及び町主催の福祉まつり等に於いて理念その他、施設の紹介をしております。 	
2. 地域との支えあい			
<input checked="" type="checkbox"/>	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	敷地内は専用の広い花壇、果樹園、野菜畑があり、施設本体との調和もよく近隣住民の皆様も含め憩いの場となっております。	
<input checked="" type="checkbox"/>	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	大良町主催の文化祭、福祉まつり、地域主催の祭りや誘致への参加、他 大良の里主催の花見、ほろりまつり、芽蒔会、花見犬会そして年2回の参加者数十名の音楽会など地元の人々と交流しております。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	<p>今後は一般取員についても外部評価の意義と理解し評価を生かして改善に取り組みます。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこで意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・入所/退所の際、利用者家族に対して不安、疑問点が生じない様十分な説明と行い、理解/納得を得ています。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・利用者がサービスに関する意見、要望と職員に伝えることが出来るよう希望の声用紙を設置しております。 ・又利用者の運営会議メンバーやその他の人に伝えることが出来るよう入所契約書時に説明しております。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	・暮らしぶりや健康状態については、家族来訪時に詳細に報告しております。 ・金銭管理、職員の異動については、毎月一度、家族来訪時に出納帖を提示、精算し捺印してもらっています。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・意見、不満、苦情の集約 玄関受付に「希望の声」用紙を設置し無記名で自由に記入出来る様にしてあります。 ・又入所契約時に苦情相談機関と体制手順等について説明しております。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営者や管理者の運営や管理について職員の声に耳を傾けより良い運営に反映させております	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員の勤務体制や臨機応変な対応につき管理者と職員同士の話し合い、納得の上で調整しております。	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・職員の異動は必要最小限とすべく努力しております。 ・職員交替による利用者のダメージを防ぐため前住者との引き継ぎ、情報交換は十分時間をかけて実施する	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者、取員の能力、特性、経験、年齢に応じ各種研修に参加させ、介護ケアアップにつなげております。 (目標1~3回/年/人)	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大良町内には下記の福祉施設があり、運営者、取員はそれを連携を取り交流しております。 大良町福祉協議会、大良町包括支援センター、高齢者福祉施設、光風荘、保健、ふるさと森、定老所、おおうち	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・取員専用の休憩室があり十分な休養をとれます。 ・取員のみで会合(昼食会)の実施計画しております。	○ 今後は取員のストレス軽減のための工夫、例えば軽スポーツの実施、昼食会の定期的な実施に取り組めます。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・運営者は管理者や取員の努力・実績・勤務状況を把握し適正な評価とする。 ・取員が意欲をもって働けるよう配慮/対応している。	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人家族と面談し話しをよく聴くことを大切にしております。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人と家族との思いの違い及び家族間の違いを聴取し本人のベストの入所生活が出来るよう配慮している。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>		
26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の視点での対応 相談から利用に至るまで利用者の視点で対応する。 ・馬川馴染みながらの利用 グループホームの特徴を活かした、そして雰囲気は徐々に馴染んで生活して頂く ・本人の安心と納得と大切にした利用の支援を行っており対 	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>「介護する一される」一方的な関係を見直し 「一語に過ごし、学び、支えあう」関係を築いている。</p>	
28	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>職員と家族が「介護する一される」一方的な関係ではなく 又家族が職員に介護をゆだねるようになることなく 職員と一語に寄り支えあう</p>	
29	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本人と家族とのより良い関係の持続 これまでの両者の関係を踏まえつつその保持に努める。 ・疎遠な関係の家族への対応 本人の近況報告とし元気が家族の来訪を楽しみにしているなど 来訪しやすい状況であることを伝える。 	
30	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>大切な人との音信が絶えない様、状況に応じ、電話、はがき、手紙を置くなどおすめする。</p>	
31	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>入所者個人の経歴、趣味、性質等を把握し 食卓での席次、風呂の川原番などにつき配慮している</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(〇印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	<p>〇関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>転居した場合には転居先(自宅、家族、病院)之訪問し その後の生活状況をフォローしております。</p>	

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握

33	<p>〇思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>取員全員が入所者一人ひとりの思いや意向につき関心をもち又入所者が話しやすい対応をすべく心掛けております。</p>		
34	<p>〇これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>相談受付け時及び入所時に「入所希望者(事前入所時)調査表」にもとずき生活、生活環境、これまでの経過等把握し以降の生活につなげております。</p>	<p>観察し</p>	
35	<p>〇暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>入所者一人ひとりの健康、精神、そして生活状態と記録し申し送り事項と共に後任者に引き継ぐなど総合的にチームとして把握しております。</p>		

2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し

36	<p>〇チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画書作成の基本方針としては「入所希望者調査表」情報をもとに本人、家族、担当ケアマネジャーと協議の上作成し入所後は本人の意向と折込み見直し(3ヶ月毎)を行い家族の同意捺印を頂いております。</p>		
37	<p>〇現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>本人に健康、精神状態を含めて生活上の変化がある場合は、本人、家族、担当介護支援専門員等と話し合い臨機応変に見直しとしております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印	取り組んでいない内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入所者個人毎の生活上の記録は「生活/身体状況調査表」に記入し職員として計画作成担当者が共有し協議の上介護計画書に適宜折込み更改しております。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	単に介護計画書に記載された介護支援にとどまらずグループホームの特性を生かした小廻りの多く精神的にも心うちとする変化のある共同生活と心掛けております。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の皆様より協力を頂いております。 ・民生委員 定期的に来訪頂き職員、入所者と話し合い実施 ・ボランティア活動 大塚グループ、コンサート、中学校生福祉体験学習グループ ・教育機関 文化祭への参加 ・警察 入所者、職員、居住者より提出・消防 緊急時にお世話になっております。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他のサービス活用支援例 ・花麻痺の入所者、近くの在宅所にリハビリ依頼 ・出張(自動車)美容室依頼 施設まで来訪		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センター主催による大良町内福祉施設間の構通し、そして町民への施設紹介等と実施しております。又入所者情報についても常時連携を取っております。		
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本方針は下記の通り ・主治医 入所までのかかりつけ医とする ・上項)が協会 施設の協力医か主治医 ・専門医が必要な場合、主治医の判断により専門医を紹介しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	<p>今後は全取員との協議及び他施設の事例を参考に、具体的に対応方針を策定して行きたい。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容/実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
60	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・プライバシーの確保徹底に関しては取員採用時下記一文と誓約させており又その後の日常勤務においても厳守しております。 業務上知りえた利用者、家族等及びその他の情報は、在職中退職後においても個人に対しては漏らしてはならない	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入所者9人は全員それぞれ異なる生活力を有しており認知症の進行した方は判断力、自己表現力は低下しても適切な対応により発言、意志表示は可能であり表情もやわらかく	
62	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	今日一日をどう過ごしたいのか、不断の観察を通じ本人の意向をふまえて把握し、食事、入浴以外は本人のペース/意向に沿ったものとしている。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしやれの支援 その人らしい身だしなみやおしやれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	一人ひとりの個性、希望、生活歴に応じて、髪型や、服装等の身だしなみや、おしやれを個別に支援しております。	
64	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	・調理の前準備、調理配膳など個人個人の能力に応じて取員と一緒に進めて行っております。 ・専用の野菜畑、果樹園で収穫された旬の食材をおいしくいただいております。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・食事のメニューについても個人個人の好みと合わせて、おき川貝番に提供しております。 ・又朝食にパン食の場合、パン食の食べられない人にはごはん食を提供しております。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・トイレの排泄 由りが少ない困難であったとしても、取替の時間とかけずの見守りやトイレで排泄と心がけて、多量な排泄困難の場合には自費にポータブルトイレを設置しております。 ・オムツの使用は極力排除した介護を実施しております。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・入所者一人ひとりの意向をオーにくろいだ気分で時間を気にせず入浴する様支援しております。 ・又しゆう心及び恐怖心に対する個人々の状況に応じて十分に配慮しております。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・一日一日の生活一本日にとつ自然のリズムで楽しむ様配慮しております。 ・不眠を訴える場合には、健康状態も考慮して枕壇、果樹園、野菜園など散策することにも効果的であります。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	張り合いのある生活、気晴らしの支援として下記を実施しております。 ・洗剤物のほか、お合、配布。 ・施設内で収穫した花、果物、野菜のお合。 ・料理の下準備 ・枕壇、果樹園、野菜畑の手入れ ・手芸		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・入所者個人々の希望、能力に応じて、お金を所持したり使用環境を支援しています。 ・十分に金銭管理が出来ない方にも、お合、金事、枕壇、等々疑似の金銭授受を実施し、その時々真摯な対応と楽しんでおります。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそつて、戸外に出かけられるよう支援している	入所者個人々 その日の希望に応じて敷地内枕壇、隣接地の果樹園、野菜畑、散策と実施しております。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	入所者全員で揃つて日常的な外出支援とは別に個人々の生活能力に応じて個別な外出について実施しております。 自宅への時間的帰所、参加、専門店への買物など。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・手紙のやり取りが無理な方には、大きな紙に自由に思いを大げさ書いて頂く。家族、知人の来訪する時お見せする。 ・電話でのやり取りが無理な方には、子電話にアダプした状態で家族/知人と会話して頂く等支援しております。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	取組員の敬待の態度、湯茶の用意、談笑スペースの確保など任意の訪問時間など気軽に居心地のよい来訪を心掛けております。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	運営者及び取組員は身体拘束の弊害を認識し、どんな事があるかも拘束は行わないという姿勢で介護を実践しております。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・全取組員は居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しております。 ・日中の玄関及び廊下奥の戸にドアーや南にはばると干渉の起る設備を導入しています。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	夜間の利用者行動やサインの察知 入所者 2人 ベッドにナースコール設置し緊急時対応。 1人 杖に鈴をつけて動きを矢印。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険防止のため下記の通り保管し管理しております。 洗剤等 棚の上部(手の届かない所)に一括保管 調理器具 一括に調理器具出しに保管 薬 専用箱に一括保管		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・転倒、窒息、誤薬等、施設内での勉強会、社外研修会受講による理解 ・ヒヤリ、ハット報告書の作成：全取組員が共通の課題として報告会を実施 ・緊急事態発生時の対応/処置要領：マニュアルを作成し冷静に対処出来るようにしております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入所者本人の好みや苦手の把握、喫食量、飲水量及び喫食状況については「介護実施記録」にてフォローしております		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザについては入所者全員早期の予防接種を実施しております。 疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルスにも看護師と中心に勉強会を開き症状と理解すると共に予防、早期発見、早期対応等に取り組んでおります。		
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・施設の方針として。 1) 生もの(火を通してないもの)は提供しない。 2) 調理器具は徹底消毒、除菌を行う。 3) 提供する食材は新鮮ものとする 野菜はほとんど自施設の野菜畑の収穫物。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	広い敷地、ゆたかとした施設配置、静かな環境 前面道路へ施設建物：完全バリアフリー。 施設内卸 共有スペース(廊下、食室)：手すり設置 物干：天井付ベランダ 浴室：広い脱衣場 便所：手すり設置 台所：IH調理器		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースは完全バリアフリーですべり止め、手摺りの設置で安全な生活空間の確保、又採光、通風について Air cond Fan の設置の他 自然採光、通風にも 自己慮し居心地よく 過ごしていただいております。		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人で過ごす個室の他、談笑おリビング、和室、そしてベランダ、又敷地内には花壇、雑木林があり、2~3人で談笑出来る場所をここに設けてあります。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には使慣れた家具や生活用品、装飾品等自由に持ち込まれ、安心して過ごせる場所として利用してもらっています。</p>	
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気の上よみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>各居室には空調機、換気扇の装備。水又食室/リビングには天井付の大型空調機と大型天井扇を設置し、温度/湿度管理を行っております。</p>	
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>施設内は安全バリアフリー、と共に全場所にすべり止め及び手摺を設置している他、個々の状況に応じ、例えば、杖に鈴をつける、歩行器“歩ヨニー”の設置、ベトに手摺の取付などの安心して自分から動き出す工夫しております。</p>	
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>一人ひとりの状況に応じ認識間違いや判断ミスを最小限にするため例えば居室入口ドアに自室であることを認識出来る人形、便所ドアには花リボンを取付けるなど工夫しております。</p>	
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>施設本体の外廻り、敷地は広がり広く遊歩道石壇雑木林があり、年中咲く花が楽しめる、夏には雑木林の下で談笑も可能です。 又隣接地には、果樹園、野菜畑があり、手入れそして収穫を楽しんでおります。</p>	

V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="radio"/>	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input checked="" type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input checked="" type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ゆったりとした施設内配置、広い敷地、そして専用の花壇、野菜畑、果樹園があり自然豊かで理想的環境条件が整っている。

又日々の生活が家族的雰囲気である。私自身もこの先施設介護を必要とする場合にはこのようなグループホームに入所することを希望します。

入所者作品

山あいのしずかな空気につつまれて

とげなし介護に心やすまる。